

教育研究

きたかみ

北上市教育研究所事務局

<http://www.edu.city.kitakami.iwate.jp/kenkyujo/>

〒024-0392 北上市和賀町横川目 11 地割 160 番地

平成 19 年 2 月 9 日 発行

第 6 0 号

北上市教育研究発表会終わる

第 16 回の北上市教育研究発表会は、1 月 11 日（木）に、さくらホールを会場として、全体研究発表会と講演会という内容で開催されました。



全体研究発表会では、来年度の学校公開校である照岡小学校、上野中学校、北上北中学校の研究内容及び成果と課題等の中間報告を行いました。参加した先生方からは、「実践を共有し学ぶことができた」、「今後の自校の研究の方向性を探ることに役立った」研究の要点が整理されていて分かりやすかった」などの感想がありました。研究発表会の場では、質疑応答や意見を伺う場がありませんでしたので、3校の研究推進に役立つご意見等がありましたら、それぞれの学校へぜひお伝えください。

講演会は、日本のキャリア教育の第一人者である文教大学名誉教授の仙崎武先生をお迎えして、「キャリア教育で学校と子どもを変える」という演題で行われました。

今の時代になぜキャリア教育が必要か、そして、キャリア教育の基礎理念や基礎理論はどのようなものなのかなど、実践に入る前に理解しておかなければならない内容を学ぶことができました。また、具体的な資料を基に、教育活動の位置づけはどうあるべきか、校務分掌にどのように位置づけることが大切か、そして、評価はどうあるべきかなど、今後の計画や実践に直接役立つ内容だったのでないでしょうか。

「キャリア教育の重要性を改めて痛感した。将来の夢や目標をもたせること、なぜやらなくてはいけないのかを明確にすることの大切さを感じた」、「キャリア教育という今日的教育課題に関わって市内の全職員が共通の意識をもつための貴重な機会になった。」、「今後のキャリア教育のあり方を示唆する内容で、先生方にも好評であった。」などの感想が各校からありました。

研究部会情報

標準学力検査結果分析部会

昨年(平成18年)の10月30日に「教育研究所研究紀要136号」を発行しました。今年度の紀要は、授業場面でより活用できることをねらいとし、「全国比10ポイント以下の問題」に焦点を絞り、可能な範囲で類似問題を作成し掲載しました。

「教育研究所運営計画作成に係る調査」によると、自校と北上市全体との比較という形で、ほとんどの学校で活用したようですが、来年度の研究の方向性や授業の年間指導計画作成にあたり、もう一度見直し、参考にしてもらえればと思います。

基礎学力定着のためのドリル作成部会

12月に「小学校計算チャレンジテスト」を全小中学校へ配布しました。「教育研究所運営計画作成に係る調査」によると、全小学校で朝学習や家庭学習、授業中や特設の時間に「活用している(活用する予定である)」ということでした。中学校では5校で、特別支援学級の算数の時間や補充学習の時間の個別指導に使っているということでした。

活用してみてのご意見等がありましたら、研究所までお願いします。

食に関する指導の在り方研究部会

今年度はまず昨年度作成した食育指導のモデルプランを黒沢尻北小学校、黒沢尻東小学校、飯豊小学校、南小学校、和賀西小学校、和賀東小学校の6校に協力をいただき試行しました。その結果を、アンケートを実施して把握し、モデルプランの改善を行いました。今年度中には、改善されたモデルプラン及び関わる資料等を掲載した電子ファイルを各小学校へ配布する予定です。来年度からの活用をお願いします。

小学校英語活動研究部会

本研究部会は、全国の先進的な英語活動の取組をしている学校や地域の情報収集をし、その概要をまとめました。概要をまとめた物は、誰でも閲覧できるようにファイルを研究所内に設置しました。どのような取組事例が収集されているのかということは、2月2日に各校へ配布した「小学校英語活動取組事例等の報告」に、「英語特区の主な活動内容の紹介」、「先進的な英語活動を行っている学校の紹介」、「小学校英語の教材の紹介」と分類し、収集した情報のリストとして掲載していますのでご覧ください。



北上市公立幼稚園研修会

1月15日(月)に研究発表会が行われました。今年度の発表は、更木幼稚園、江釣子幼稚園、横川目幼稚園の3園からでした。

更木幼稚園は、研究主題を「自分の思いを出して考えながら行動できる子をめざして - 身近な人とのかかわりをとおして - 」と設定し、「身近な人とかかわり様々な感情体験をすることで、まわりにはたくさんの自分とは違った人がいることに気づいたり、繰り返し交流することで自信をもって素直に自分の思いを出したり、その場に合わせ行動できたりするようになるであろう。」という仮説のもと研究した結果を発表しました。

江釣子幼稚園は、研究主題を「親・子・教師が共に育ち合う望ましい連携のあり方を探る - さまざまな親との対応を通して - 」と設定し、「さまざまな親の悩みや要望を受け、親育ての場を工夫し提供していくことで、親としての自覚や意欲が育つのではないか。子育ての啓蒙の仕方を工夫し、園経営への説明責任(幼児教育への理解)を果たしていくことが望ましい連携につながっていくのではないか」という仮説のもと研究した内容を発表しました。

横川目幼稚園は、「心豊かに生きる力をはぐくむ保育の創造 地域や自然の中で豊かな遊びを育てる保育を考える」という研究主題、「自然とのかかわ

りや、地域との交流など様々な体験を園に取り入れ、幼稚園で得た生活経験を家庭や地域で生かすなどして、心豊かになり遊びが充実していくであろう。地域や自然とのかかわりの中で遊びが豊かになるような、環境構成と援助の工夫をしていくことで生きる力が育まれていこう」という研究仮説に基づいた研究成果を発表しました。

3園の具体的な研究の内容と今年度発表園ではなかった「黒沢尻幼稚園」、「岩崎幼稚園」、「藤根幼稚園」の研究内容は、「平成18年度幼稚園教育研究紀要第16集」に掲載してあります。



平成18年度(第50回)岩手県教育研究発表会

1月9日・10日に開催された岩手県教育研究発表会で、北上市教育委員会・北上市教育研究所推薦の黒沢尻西小学校と成田小学校、南中学校の3校が公開研究会での研究成果を発表しました。また、江釣子小学校が、英語活動の研究成果を発表しました。

教育研究所ホームページ
 黒沢尻西小学校
 研究内容・学習指導案掲載

北上市立黒沢尻西小学校の学校公開研究会の研究内容及び学習指導案を北上市教育研究所ホームページに掲載しました。

黒沢尻西小学校は、北上市の研究指定の他に、文部科学省・岩手県から「学力向上拠点形成実践研究事業」の3年間（17年～19年）の指定を受けています。

この事業の趣旨は、「児童生徒一人一人に『確かな学力』の育成のための実践研究を実施し、その成果の普及を図ることにより、児童生徒の学力の向上を図る」というものです。

そこで、教育研究所のホームページに掲載し、すぐに活用できるようにしました。全学級の学習指導案も掲載してあります。

黒沢尻西小学校での国語の実践を参考にして授業改善に生かしてもらいたいと思います。

なお、北上市立上野中学校もこの指定を受けており、来年度に学校公開研究会を開催する予定です。

学校公開研究会後に、同様にホームページに研究内容、学習指導案を掲載する予定です。

教育研究所
 活動経過

月	内 容
4月	第56号研究所報発行
5月	第1回運営委員会・研究員会議
6月	コミュニケーションスキル向上研究部会
6月	小学校英語活動研究部会
6月	教育研究発表会に係るアンケート実施
6月	第57号研究所報発行
6月	食育指導のあり方研究部会
6月	第2回ドリル作成部会
6月	第2回標準学力検査分析部会
7月	第2回小学校英語活動研究部会・ コミュニケーションスキル部会
8月	第3回標準学力検査分析部会
8月	研究所研修講座
9月	第58号研究所報発行
10月	第3回ドリル作成部会
10月	第2回運営委員会
10月	標準学力検査分析部会 教育研究所研究紀要136号発行
11月	第3回小学校英語活動研究部会・ コミュニケーションスキル部会
12月	第59号研究所報発行
12月	食育指導のあり方研究部会
12月	ドリル作成部会計算チャレンジテスト配布
1月	教育研究発表会
2月	小学校英語活動取組事例の報告完成
2月	第60号研究所報発行
2月	第3回運営委員会